

私と超音波，超音波と済生会 —診断責任医の立場から—

東京都済生会中央病院

放射線科

金田 智

済生会超音波研究会目的

- 済生会病院・診療所全体で超音波検査にあたる医師、看護師、臨床検査技師、診療放射線科技師など多職種連携によりそれぞれの立場での経験や研究結果についてディスカッションや情報交換を行い、超音波検査レベルの向上に寄与することを目的とする。

済生会共同研究
「済生会超音波研究会による
集学的医学超音波教育」

にも登録。

東京都済生会中央病院



535床
DPC対象病院
臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター(三次救急)

所在地: 港区三田
最寄り駅: 都営地下鉄
赤羽根橋

東京タワー
の近く

金田のプロフィール

- 1978年慶應大学医学部卒業
- 1978年慶應大学医学部放射線診断部入局
- 1983年6月済生会中央病院放射線科勤務
- 現在

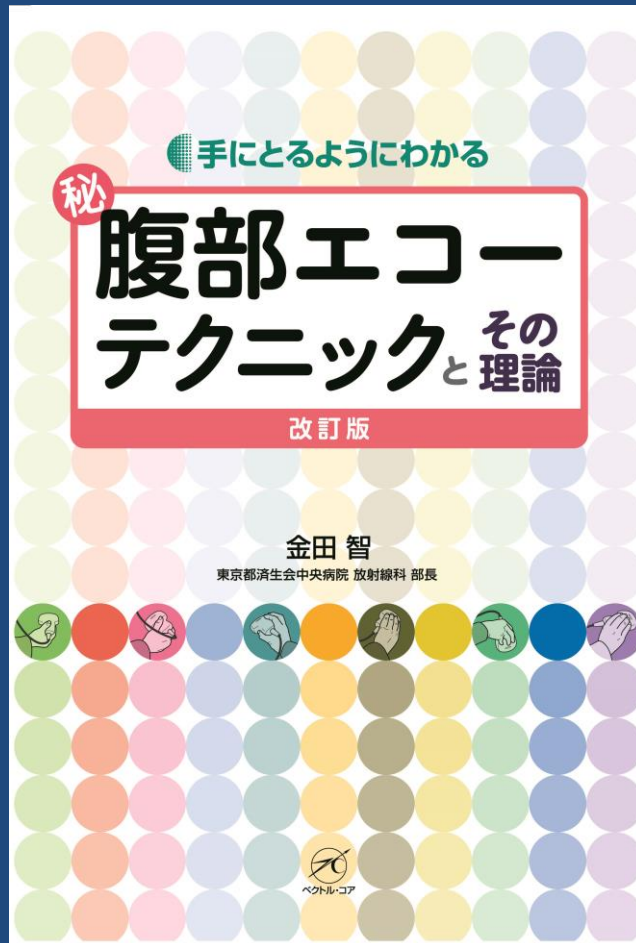
東京都済生会中央病院放射線科 部長

- 放射線診断専門医
- 超音波専門医・指導医



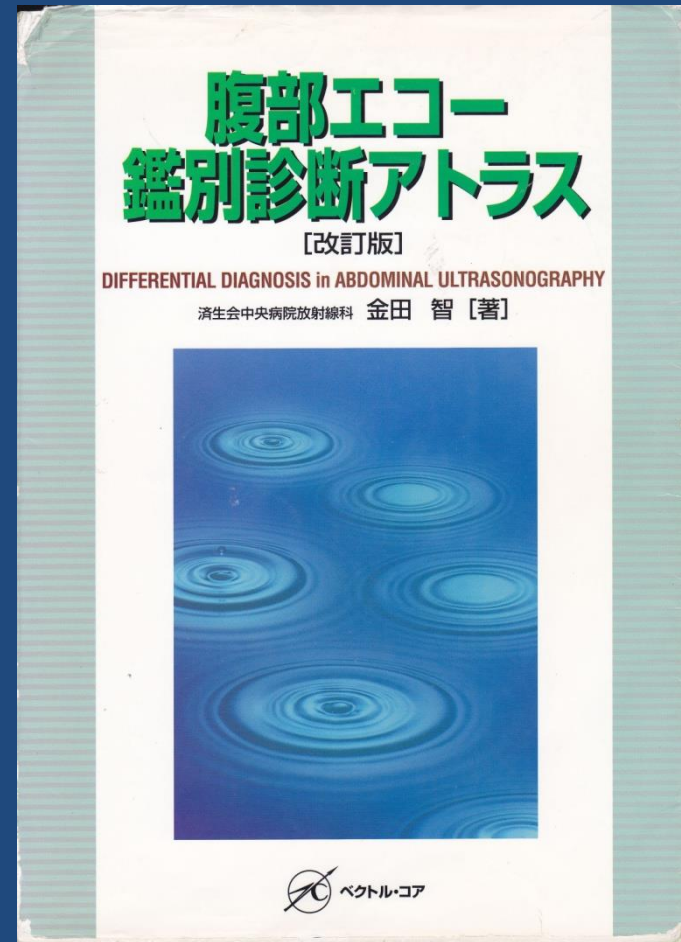
勤続31年

金田のプロフィール



こんな本を書いています。

金田のプロフィール



こんな本も書いています。

超音波診断責任医の仕事

- 超音波検査と診断... 心臓以外の領域

保険診療: 腹部9104件, 表在4757件, 血管3024件

ドック: 腹部4029件, 表在1068件, 血管1091件 (2014年)

- 診断装置は主に検査室5台と健診センター2台

臨床検査科8名(検査士7名)のスタッフがほとんどの検査を施行.

診断は, 金田・他の放射線科医が臨床情報や他の画像を参照し、ディスカッションしながらカンファレンス形式で行っている.

技師が検査時よくわからない時は, 金田をcall.

主要な技師
教育ツール

金田が直接施行するのは造影USや再検症例など特殊な症例のみ.

臨床検査科スタッフと金田



超音波診断風景

診断用コンソール



電カル

電子カルテで、臨床所見、臨床検査データ、他画像を参照して診断しています。

レジデント・専修医の超音波検査教育

- 2年目のレジデントが選択科目として放射線科を選択したときに、CTと超音波検査を中心に指導(1ヶ月間)。内科等の専修医も同様に指導(原則2カ月)。
- まず検査技師について検査の見学
- 自分で検査を行い、技師によるダブルチェックを受ける。
- レポートを作成し、技師のチェック後、診断医が診断を確定する。

その成果は？

- レジデントは約40症例を経験
- ようやく普通の人臓器が一通りだせる程度
- 残念ながら日常診療に積極的に利用できる
とはいえない程度

超音波カンファレンス

- レジデント、検査技師等向け
超音波症例カンファレンス
超音波検査が役に立った症例や典型例を提示
- 検査技師等向け
超音波VTRカンファレンス
過去に撮りためた動画を中心に提示

地域支援病院としての院外のコメディカル研修の一環として、院外からも参加しています。

スタッフ向け 超音波カンファレンス

見落とし症例カンファレンス

希望

よくできました症例カンファレンス

経験の共有

放射線科医教育

- 放射線科は慶應大学医学部放射線診断科からの教育出張を受けいれており、放射線科医への超音波検査教育も行っている。
- 造影USや特殊部位、金田への依頼症例などを行い、診断困難な症例など、適宜金田の指導を受ける。
- 超音波ガイド下非血管系IVRの教育。

済生会東京都支部における 超音波教育

- 済生会向島病院
金田が月1回出張し、技師の教育
- 渋谷診療所
当院で研修を行った技師が出向
ハードコピーを見て、金田が診断

超音波教育の問題点

- 腹部ではCTやMRIが精査に気楽に用いられるようになったが、**超音波検査によるスクリーニング**はCT, MRIでは行い得ない重要な業務である.
- 乳腺のsecond look USのように**他の画像を参照したより正確な検査**が求められている.
- 透析シャントやリウマチエコーなど**新しい領域が増加**している.
- 超音波専門医は十分増えていない.

技師による技師の教育

- 技師による技師の教育は必須
- 超音波指導検査士（まだ全国で10名程度）の増加が望まれるが、十分な力量のある技師を増やすことができるかが、問題.